

ぴあ

2025年度 上期のご報告
2025.4.1-2025.9.30

大規模化した来日公演、夏フェス、スポーツ、ミュージカルなど活況続く
取扱高、営業利益とともに過去最高水準に
通期業績も期初予想を大きく上回る **上方修正**

来場者数 **2,558万人!**

公式ライセンス商品



大阪・関西万博

3年にわたる包括的な
シリーズ累計発行部数計**110万部**突破
オリコン年間BOOKランキング**1位**を獲得！



ぴあがオフィシャルサポーターの
「東京2025世界陸上」



チケット販売は目標を大きく上回る**58万枚**
7日間、夜の部は**フルスタジアム**に

企画・運営から販売まで「ホスピタリティプログラム」を本格展開
アスリートを目指す学生たちへの寄付企画「バトンチケット」の発売も

期初から倍増の1株あたり20円に
復配を過去最高水準で実施予定
予想も引き上げ

JR西日本と業務提携
エンタメを通じた地域活性化で協業

第47回 ぴあフィルムフェスティバル
大ヒット「国宝」の李相日監督も受賞した
若手の登竜門「PFFアワード」今年のグランプリ決定

ぴあ総研主催シンポジウム
今年は京都と関西万博にて開催
「大阪宣言」～文化芸術・エンタメ・スポーツは
持続的発展と平和のエンジン！～

7つの重要課題に沿って
ぴあならではの
サステナビリティ活動の
最新レポートを発行





矢内廣
や
ひろし
代表取締役社長

ぴあを応援してくださる皆様へ “感動のライフライン”の 構築を進めています

「大阪・関西万博」や 「東京・世界陸上」の成功を受けて

皆様には平素よりご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。お陰さまで、当グループの当連結会計年度におきましては、営業利益、経常利益、純利益ともに前年度を大幅に上回る推移を辿っております。当社シンクタンクのぴあ総研の調査でも、国内集客エンタテインメント市場はすでにコロナ禍前を遥かに上回る規模に復調し、この勢いは今後も右肩上がりに継続するものと想定しております。特にスポーツ分野の盛り上がりや大規模音楽フェスの開催、演劇や来日アーティスト公演の活況などにより、取扱高ベースでの売上は1,500億円を超える過去最高水準となりました。また、当社がチケットティング業務を全面的にお手伝いした「大阪・関西万博」や「東京・世界陸上」も大盛況のうちに閉幕し、「ぴあカード」や「ホスピタリティチケット」など、チケット流通ビジネスを核とした周辺事業も順調に成長しました。こうした活況を受け、一昨年発表した3ヶ年中期経営計画の目標は、大きく上回って達成される見通しです。コロナ禍の影響による多額の累損も解消され、中間決算期には、通期予想の上方修正も行いました。同時に、6期ぶりの復配も実現できる運びとなりました。誠に遺憾ながら無配を継続するを得なかった期間中も、温かくご支援くださった皆様に、心から御礼を申し上げます。

21世紀の“感動のライフライン”の 構築を目指して

中期計画の達成に向け、基幹事業であるチケット流通、興行企画制作、ぴあカード会員、アリーナ運営、メディア創出等の収益拡大と並行し、「ホスピタリティ事業(体験型・高付加価値チケットの販売)」、「グローバル・イベント事業(国際的分野での業務受託)」、「デジタルメディア・データマーケティング事業」等、コロナ禍中に準備を進めてきた新規事業群への戦略的投資を継続した結果、いずれも順調な成果を挙げ始めています。また、稼働の好調な「ぴあアリーナMM」、「豊洲PIT」、「仙台PIT」に続き、2026年春には、東京・八重洲に新劇場のオープンも決まり、東京・渋谷ではライブハウスの運営も開始しました。今後も、全国を視野に入れた新たなメニューの開発を進めてまいります。

一方、「神宮外苑花火大会」や「ぴあフェス」、「パンのフェス」など、大規模興行の企画・運営・主催事業も積極的に進めております。多様なジャンルのイベントを創出し、様々なタイプのホールで開催することで、エンタテインメントの作り手と受け手、生み出す側と楽しむ側を一気通貫に結ぶサービスが可能となります。当社ではこれを、「感動のライフライン事業」と呼んでいます。コンテンツの創出からプロモーション、チケット流通、ホール・劇場運営までを一手に担うとともに、コミュニティの醸成、文化や人材の育成、業界へのソリューション、地域の活性化等を

通じ、集客エンタテインメント産業全体のサステナビリティ化にも貢献したいと思っております。加えて、高度な専門性を有するIT人材を採用する「PIA TECH LAB(ぴあテックラボ)」を札幌市に開設し、システム開発の内製化をスタートしました。同時に、エンタメ業界を志す学生を対象にした就活イベント「エンタメ業界研究フェス」をぴあアリーナMMで主催するなど、人材の発掘や育成、業界の持続性の拡充にも注力しています。

映画「国宝」の記録的大ヒットの 背景にある、息の長い営み

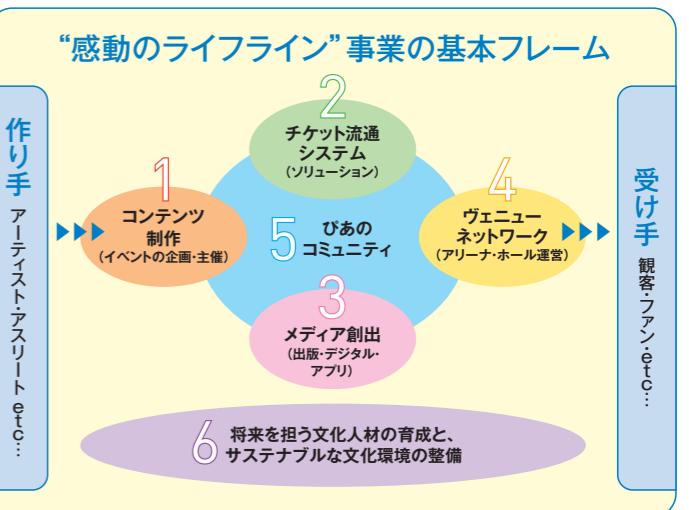
今年で47回目を数えた自主製作映画のコンペティション「PFFアワード」では、今回も若い才能の台頭が目立ちました。昨年からは、日本航空の国際線・国内線で、過去の入選作品が機内上映プログラムに加わり、新人監督たちにとって、貴重な上映機会が増えました。作品は定期的に入れ替わりますので、フライトの際はぜひお楽しみください。また、映画の未来を拓き、世界へと羽ばたこうとする若く新しい才能に対して贈られる「大島渚賞」は今年で第6回を数え、「ナミビアの砂漠」で注目を集めた中山瑠子監督に授与されました。今や、PFF出身のプロの映画監督は200名近くに達していますが、今年の映画界で記録的な大ヒットとなった「国宝」の李相日監督も、26歳の時に応募した作品が当時のPFFアワードでグランプリを受賞したことが、監督としてのデビューの第一歩でした。今後もこうした取り組みを通じて、「映画の新しい才能の発見と育成」を継続し、日本の映画界の持続的発展に寄与していきたいと思っております。

17項目のSDGsに、“18番目”の目標を

ぴあ総研では、日本で開催されている興行データを正確に集計し、集客エンタメ市場の変遷を発表し続けています。今やその分析や予測値は、世の中の市況とその行方を量る重要な経済指標の一つとして、広く活用されています。PFFとともに、収益

には直結しない活動ですが、経済性の追求と同時に、こうした趣旨性の体現も当グループの企業理念の核となっています。私たちは、過去の大震災やコロナ禍などを経て、集客エンタメには人々を元気づけたり、勇気づけたりする力があることを実感してきました。これらは同時に、地域の活性化や地方創生にも大きな貢献を果たしています。ぴあグループでは、エンタメは決して不要・不急なものではなく、世の中や社会にとって不可欠な存在であることを示すために、SDGsの18番目の目標として、「Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.」(文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を)を提倡しています。

エンタテインメントによる感動は、ひとりひとりが毎日を生き生きと暮らすための、いわば「酸素」のようなものだと私たちは考えています。事業の拡大とともに人的資本経営にも注力し、生産性の向上や残業の削減はもとより、ぴあならではの生き生きとした働き方改革や環境の改善を進め、全社一丸となって企業価値の向上を図ってまいりますので、今後とも、皆様からの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025年度上期の主な活動



1

コンテンツ制作



New Beginning Fes 2026

2026/1/4(日) ● 東京ガーデンシアター

挑戦、出会い、そして未来への一歩をテーマにした新しい音楽フェス。aoen、BUDDiS、Linel.n.SSign、OWVら注目の若手アーティストグループが出演します。



東京最高の名物料理レストランウィーク2026

2026/1/19(月) ~ 2/17(火)

● 東京都市内の「最高の名物料理」認定レストラン 約120店

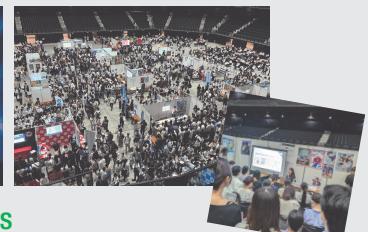
ぴあ発行のガイド『東京最高のレストラン』が主催。人気店が「過去・現在・未来を紡ぐ名物料理」をテーマとして特別メニューを提供し、「世界一の美食都市の魅力」をお届けします。



令和八年 春巡業 大相撲横浜場所

2026/4/16(木) ● 横浜・ぴあアリーナMM

ぴあアリーナMMで初の巡業開催! 迫力ある力士の取組をはじめ、人気力士の「大銀杏」が結われる様子が見られる「髪結い実演」、力士がコミカルな動きで相撲の技や禁じ手を実演する「初切」など、本場所では見られない演目にもご注目を。



「ぴあPresents エンタメ業界研究フェス」を初開催!

今年9月に、TV局、映画、音楽、芸能、出版、広告、イベント運営・技術会社などエンタメ企業44社が出演する、ぴあならではの就活イベントを企画・運営。初開催で平日にもかかわらず約4,000人の学生が会場であるぴあアリーナMMに来場しました。エンタメ業界の人材確保、育成を図るため、多様な企業と学生が出会い貴重な交流機会を自ら創出しました。

2

チケット流通システム



9月開催の「東京2025世界陸上」はチケッティングのみならず、プロモーションや会場運営をはじめとした多様な業務を遂行し、特に観戦体験の付加価値を高める「ホスピタリティプログラム」では、お客様から高い評価を得ました。このサービスはラグビー日本代表vsオールブラックス戦や、新国立劇場でのバレエ公演、ジャパンオープンテニスなどのイベントでも実施。購入者だけの特別な体験を多くのお客様にお届けしました。

累計約2,558万人の来場者数を記録し、大盛況のうちに閉幕した「大阪・関西万博」では、入場チケットの販売・来場予約からパビリオン・イベント予約まで一連の管理が可能なシステム提供のほか、ASP型Webサービス「QUICKぴあ」を活用し、会員登録なしで入場チケットを購入できる「EXPO Quick」を導入しました。また、万博来場の思い出を形に残す記念チケットの販売も行い、万博事業の円滑な運営と成功に寄与しました。

また、国内の大型興行の需要も引き続き拡大しており、夏に横浜で開催したMrs. GREEN APPLEの野外ライブでは2日間で10万人を動員。チケッティング業務のほか、ライブ配信業務も受託し、PIA LIVE STREAMをはじめ多数のプラットフォームで配信を行いました。当社の基幹事業であるチケット流通を通じて、誰もが自由にエンタテインメントを享受できる社会を目指して、集客エンタメ産業のサステナブルな継続と発展を支えていきます。



万博終了後の西日本の活気を維持することを目的に、観光ナビ「tabiwa by WESTER」を中心にエンタメチケット販売や限定企画などにおいて、JR西日本と事業連携を行います。エンタメを通じて、人の移動と地域活性化を促進、新たな価値を創出します。



3

メディア創出

『大阪・関西万博ぴあ』

『大阪・関西万博ぴあ 完全攻略編』

『大阪・関西万博 写真集』

2025大阪・関西万博公式ライセンス商品である『大阪・関西万博ぴあ』シリーズが、ガイド本としては異例の大ヒット! 2月発行の『大阪・関西万博ぴあ』は80万部を発行し「オリコン年間BOOK ランキング2025」で1位を獲得。第二弾の完全攻略編は31万部、「写真集」は7万部と、シリーズ累計発行部数約118万部のベストセラー商品となりました。



まるごとせんぶシリーズ

11エリアで発行。自治体やその地域の企業・団体とタッグを組み、地域活性化を図る地元愛にあふれたMOOK。シリーズ最新刊は『まるごとせんぶ渋谷区の本』。



『あまりに細かすぎる東京2025世界陸上ガイド!』 『あまりに細かすぎる箱根駅伝ガイド!2026』

駅伝ファンだけでなく出場選手の方々からもご愛読いただいている『あまりに細かすぎる箱根駅伝ガイド!』。本年度も11月に2026年版を発行。また、今年はその“あまこま”スタッフが集結して世界陸上版を制作、大好評を得ました。



4

ヴェニュー・ネットワーク



1万人収容の「ぴあアリーナMM」(横浜・みなとみらい)は、引き継ぎ好調で週末は1年半先まで予約が埋まっています。観客だけでなくアーティストからも評価が高く、当社の主催公演も数多く開催しています。また、ライブハウス「豊洲PIT」「仙台PIT」に続き、新たに渋谷の老舗ライブハウス「SHIBUYA TAKE OFF 7」の運営事業に共同参画し、企画・運営を開始しました。さらに来年には、東京駅八重洲中央口前の「TOFROM YAESU TOWER」内に、当社運営の新劇場や複数のカンファレンス施設が開業予定。着々とそのネットワークを広げています。

5

ぴあのコミュニティ

会員数が38万人を超えた「ぴあカード」は、エンタテインメントを楽しむ皆様の活動をバックアップし、ぴあならではのサービスを提供。約2,200万人にご登録いただいている「ぴあ会員」向けのサービスに加えて、様々なプレミアム特典が好評です。また、8年目を迎えたアプリ版「ぴあ」は、「ぴあニスト(アプリ会員)」登録者数が約170万人に達しました。ぴあを応援してくださる約3万人の個人株主の皆様ももちろん、ぴあを支える大事なコミュニティです。



ぴあ総研によるエンタテインメント分野の調査・研究と、文化の育成

ぴあ総研では2022年より毎年シンポジウムを主催しており、今年度は6月に初の地方開催となる京都・龍谷大学にて、文化芸術・エンタメ・スポーツの持続的な発展のあり方などをテーマに開催されました。パネルディスカッションでは、東大教授で京都市特別顧問の鈴木寛さんをモデレーターに、文化庁長官・都倉俊一さん、東京藝術大学学長・日比野克彦さん、サントリーHD副会長の鳥井信吾さん、今治・夢スポーツ会長の岡田武史さんによる熱



い討論が交わされました。

また、8月には大阪・関西万博の「世界遊び・学びサミット」に参加し、「エンタメが創る新しい価値」をテーマに、歌舞伎俳優の中村壱太郎さん、映画監督の三島有紀子さん、日本スポーツ振興センター理事長の芦立訓さんなどをお迎えし、未来の教育や社会

におけるエンタメの役割を考えるパネルディスカッションを開催しました。まとめとして「文化芸術・エンタメ・スポーツは持続的発展と平和のエンジン！」とする「大阪宣言」を発表し、エンタテインメントが人々の心を動かし社会の発展と平和を支える原動力である、と発信しました。

びあグループでは、世界の多様な「文化芸術」の共存・共生こそが、サステナビリティの根源をなすという考えに基づき、SDGs18番目の目標として、「**Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.**」（文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を）を提言しています。



若い才能が躍動!

「第47回ぴあフィルムフェスティバル2025」開催

映画の新しい才能の発見と育成を目指し、(一社)PFFが主催する「ぴあフィルムフェスティバル」が今年も9月に開催されました。記録的な大ヒット映画「国宝」の李相日監督も2000年にグランプリを受賞したコンペティション部門「PFFアワード」では、史上2番目となる795本もの応募があり、中でも25歳以下の応募者は前年比113%、10代は前年比156%と増加し、若い監督たちの活躍が顕著でした。グランプリには、困難を抱えながらもたくましく生きる、個性豊かな兄妹の姿をユーモラスに描いた「空回りする直美」(中里ふく監督)が輝きました。

また、新人監督による長編映画製作「PFFプロデュース」では、中尾広道監督の「道行き」が、ニューヨークの「JAPAN CUTS」にて大林賞を受賞し、来年2月に劇場公開されます。さらに、この1年で15カ国・20の海外映画祭で計29本ものPFF関連作品が上映され、大変実りの多い年でした。



『サステナビリティレポート2025』を発行

当社は創業以来、誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現に向けて、社業を通じた活動を続けてきました。今年6月には、「ぴあの重要課題」として掲げた7つのテーマに沿って、その活動内容をまとめたサステナビリティレポートを発行しました。私たちは、エンタテインメントを通じて人々に感動を届ける企業として、その責任を果たしてまいります。



ぴあ所属アスリートがデフリンピックに出場!

今年2月、パラアスリート2名(アーチェリー、投擲)、デファスリート3名(短距離走、卓球、サッカー)を採用し、競技活動を中心に広報活動などにも取り組んでいます。先日東京で開催されたデフリンピックには、山田真樹選手が陸上競技3種目に出場し、金メダル2個、銀メダル1個を獲得。社員も手話を学んで競技場まで応援に行くなど、一体感を高めています。



3つのメダルを獲得し大活躍だった山田真樹選手



ぴあの上期決算ハイライト

上半期の取扱高の推移



国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、活発な動きが継続し、大阪・関西万博や東京2025世界陸上の開催、大規模会場・大型興行の増加等により、コロナ禍前を大幅に上回る規模で極めて好況に推移しています。当グループの中間連結会計期間における連結業績は、万博の成功に伴う周辺事業の拡大、当社主催・企画・運営イベントの増加に加え、チケット事業が好調に推移した結果、取扱高は1,570億円を超える過去最高の水準となりました。営業利益、経常利益、純利益は前期実績、並びに期初想定数値を大幅に上回り、当初予想を上方修正し、期末配当予想についても、前回予想から1株当たり10円増額し、過去最高水準である20円に引き上げました。

会社情報 (2025年9月30日現在)

会社概要

商号	びあ株式会社 (PIA Corporation)
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
設立	1974年12月
資本金	6,468百万円
社員数(連結)	578名
事業内容	コンサートやイベントの企画・制作・運営、音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、びあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンタテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンタテインメント全般に付随する各種事業
役員	代表取締役社長 矢内 廣 取締役副社長 木本 敬巳 専務取締役 吉澤 保幸 常務取締役 村上 元春 取締役 小林 覚 取締役 東出 隆幸 取締役 川端 俊宏 取締役(社外) 宮本 暢子 取締役(社外) 一條 和生 取締役(社外) 村井 満 取締役(社外) 佐藤 則之 取締役(社外) 寺田 美穂 常勤監査役(社外) 能勢 正幸 監査役(社外) 松田 政行 監査役(社外) 糸谷 祥輝
主要グループ会社	チケットぴあの名古屋株式会社 チケットぴあの九州株式会社 びあ総合研究所株式会社 びあグローバルエンタテインメント株式会社 びあフィールドサービス株式会社 株式会社東京音協 MECびあクリエイティブ株式会社 びあ朝日ネクストスコープ株式会社 PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社 びあライブクリエイティブ株式会社

株主優待のご案内

株主優待制度について

2025年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1. 優待品目

- ① オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカード、「災害復興のための、びっけろくまっぴー募金」から、下記優待金額(年2,500~11,000円)の範囲内で自由に組み合わせて事前にお選びいただけます。



2. アプリ

[有料コンテンツの利用]



年6,000円分

2025年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有している株主の皆様は、通常年間6,000円かかる「びあ」(アプリ)の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2. 優待区分

保有期間 株式数	2期未満 (1年未満)保有	2期以上(1年超)継続保有		
	優待	優待	アプリ	
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	びあ 年6,000円分	
100株以上	2,500円分	5,000円分	びあ 年6,000円分	

株式の状況

発行済株式総数	15,656,713株
株主数	28,880名

主な株主

株主名	持株比率(%)
矢内 廣	19.55
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.00
TOPPAN株式会社	6.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5.88
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.22
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	4.50
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	4.50
三菱地所株式会社	4.34
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	1.79
矢内アセットマネジメント株式会社	1.28

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告(URL) https://corporate.pia.jp/ir/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	TEL.0120-782-031
インターネット ホームページ	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主様限定！ プレゼントキャンペーンのお知らせ



ご好評をいただいている、株主の皆様を対象としたプレゼントキャンペーンのご案内です。今回も「びあ」アプリにて実施し、抽選で総勢400名様に、びあオリジナルデザインのTOHOシネマズギフトカード、びあ刊行の人気MOOKや書籍など、さまざまな賞品をご用意しています。ぜひこの機会にご応募ください。



※詳細は、同封のご案内をご確認の上、「びあ」アプリからご応募いただきますようお願いいたします。

「災害復興のための、びっけろくまっぴー募金」につきまして

びあグループでは、2024年度は能登災害の復興のため、株主優待を活用して義援金を募り、「芸術・文化による災害復興支援ファンド」へ寄付を行いました。2025年の株主優待制度より「災害復興のための、びっけろくまっぴー募金」と名を変え、237名の方から総額46万円をお預かりしました。エンタテインメントによる心の復興支援を目的に、被災地等へ寄付いたします。寄付先は決定しましたら、弊社ホームページでご報告いたします。エンタテインメントを愛する皆様のご協力を引き続き、よろしくお願ひいたします。

